

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 23 年 2 月 10 日 (2011.2.10)

【公表番号】特表 2009-523422 (P2009-523422A)

【公表日】平成 21 年 6 月 25 日 (2009.6.25)

【年通号数】公開・登録公報 2009-025

【出願番号】特願 2008-550435 (P2008-550435)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/21 (2006.01)

A 6 1 K 39/29 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 31/16 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 39/21

A 6 1 K 39/29

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 37/00

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 31/16

A 6 1 P 31/12

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 35/76

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 12 月 22 日 (2009.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1 を含む核酸分子、または I L - 1 5 の機能性のフラグメントをコードする該核酸分子のフラグメント。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の核酸分子であって、配列番号 1 を含む、核酸分子。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の核酸分子であって、I L - 1 5 のシグナル配列のためのコード配列を持たない、核酸分子。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 請求項 3 に記載の核酸分子であって、I L - 1 5 のコザック領域および / または I L - 1 5 の 5 ' 非翻訳領域および / または I L - 1 5 の 3 ' 非翻訳領域を持たない、核酸分子。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 請求項 4 に記載の核酸分子であって、非 I L - 1 5 シグナル配列のためのコード配列を含む、核酸分子。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 請求項 5 に記載の核酸分子であって、I g E シグナル配列のためのコード配列を含む、核酸分子。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 請求項 6 に記載の核酸分子であって、免疫原のためのコード配列をさらに含む、核酸分子。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の核酸分子であって、前記免疫原が、病原体抗原、癌関連抗原または自己免疫疾患に関連する細胞に連結された抗原である、核酸分子。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の単離された核酸分子であって、前記免疫原が、H I V、H S V、H C V、および W N V よりなる群から選択される病原体由来の病原体抗原である、核酸分子。

【請求項 10】

請求項 1 ～ 請求項 9 に記載の単離された核酸分子であって、該単離された核酸分子がプラスミドである、核酸分子。

【請求項 11】

請求項 1 ～ 請求項 9 に記載の核酸分子であって、ウイルスベクター中に組み込まれた、核酸分子。

【請求項 12】

請求項 1 ～ 請求項 9 に記載の核酸分子であって、生弱毒化病原体に組み込まれた、核酸分子。

【請求項 13】

請求項 1 ～ 請求項 12 に記載の核酸分子、および免疫原をコードする核酸配列を含む核酸分子を含有する、組成物。

【請求項 14】

請求項 13 に記載の組成物であって、前記免疫原が病原体抗原、癌関連抗原または自己免疫疾患に関連する細胞に連結された抗原である、組成物。

【請求項 15】

請求項 14 に記載の組成物であって、前記免疫原が、H I V、H S V、H C V、および W N V よりなる群から選択される病原体由来の病原体抗原である、組成物。

【請求項 16】

請求項 13 ～ 請求項 15 に記載の組成物であって、前記核酸分子がプラスミドである、組成物。

【請求項 17】

注射可能な薬学的組成物であって、請求項 1 ～ 請求項 12 に記載の核酸分子、または請求項 13 ～ 請求項 15 に記載の組成物を含有する、組成物。

【請求項 18】

個体における免疫反応を調節するための組成物であって、請求項 1 ～ 請求項 6 に記載の核酸分子を含む、組成物。

【請求項 19】

組み換えワクチンであって、免疫原をコードする核酸配列および請求項 1 ～ 請求項 6 に記載の核酸配列を含む、組み換えワクチン。

【請求項 20】

請求項 19 に記載の組み換えワクチンであって、前記免疫原が病原体抗原、癌関連抗原ま

たは自己免疫疾患に関連する細胞に連結された抗原である、組み換えワクチン。

【請求項 2 1】

請求項 2 0 に記載の組み換えワクチンであって、前記免疫原が、H I V、H S V、H C V、および W N V よりなる群から選択される病原体由来の病原体抗原である、組み換えワクチン。

【請求項 2 2】

請求項 1 9 ~ 請求項 2 1 に記載の組み換えワクチンであって、該組み換えワクチンが、組み換えワクシニアワクチンである、組み換えワクチン。

【請求項 2 3】

免疫原に対して個体における免疫反応を誘導するための組成物であって、請求項 7 ~ 請求項 1 2 に記載の核酸分子、または請求項 1 3 ~ 請求項 1 6 に記載の組成物、または請求項 1 9 ~ 請求項 2 2 に記載の組み換えワクチンを含む、組成物。